

2024年7月24日
学校法人 ホスピタリティ学園
電気事業連合会

学校法人ホスピタリティ学園と電気事業連合会との 2025年大阪・関西万博に向けた包括連携協定の締結について

本日、学校法人ホスピタリティ学園（本社：東京都中野区 理事長：森谷 博、以下「ホスピタリティ学園」）と電気事業連合会（会長：林 欣吾）は、2025年大阪・関西万博に向けた包括連携協定を締結しましたので、お知らせいたします。

本協定の目的として、

- ・ホスピタリティ学園は、学生たちが世界各国から集まる環境や価値観の異なる人たちと相互理解を深める能力を身につけ、ホスピタリティ産業全体の発展に貢献できる人材育成を図ること
- ・電気事業連合会は、同学園が有するホスピタリティの知見や経験をもとにした共催イベントの開催を実現することで、出展パビリオンをより魅力的なものにすること

が期待されることから、このたび両方で包括連携協定を締結しました。

具体的な協定内容は次のとおりです。

【連携・協力事項】

- （1）大阪・関西万博での電力館の運営に関すること
- （2）大阪・関西万博に係る電力館との共催イベントに関すること
- （3）大阪・関西万博での電力館の広報に関すること
- （4）大阪・関西万博の機運醸成に関すること

なお、ホスピタリティ学園大阪校と電気事業連合会は、2023年度に産学連携プログラムを通じて、若年層をターゲットにした電力館のPR方法や屋外ステージでの「可能性のタマゴ」をコンセプトとしたイベント・ショーの提案に関する取り組みについて協業しています。

今後、電気事業連合会が万博に出展するパビリオン「電力館 可能性のタマゴたち」に関する運営、共催イベント、広報について協働していくことで、万博の機運醸成にも取り組んでまいります。

引き続き、「電力館 可能性のタマゴたち」では、カーボンニュートラルのさらにその先を見据え、社会の基盤を支える電力業界ならではの視点で未来社会を描くとともに、来場される皆さまにワクワクする体験をしていただけるよう、具体的な検討を進めてまいります。

<参考：ホスピタリティ学園概要>

1973年に観光・サービス業界からの即戦力人材育成の要望を受け「トラベルジャーナル旅行学院」を開校。以降、東京・大阪に専門学校を開校し、観光やブライダル他、ホスピタリティ業界で活躍する人材を輩出しており、学生たちに就業体験させる企業実習においても、有名ホテルや国際空港業務を担う有名企業など、数百社を超える企業ネットワークを持つ。

また、2018年には、テーマパークのプロになれる日本初の学校として「大阪テーマパーク・ダンス専門学校」を開校。

2024年、創立50周年の節目に「ホスピタリティ学園」に名称を変更。

以 上

【可能性のタマゴ】

